

# 第3回熊本都市圏3連絡道路有識者委員会

## <議事要旨>

### ■日 時

令和8年（2026年）3月31日（火）14:00～16:00

### ■場 所

ホテルくまもとテルサ 3階 たい樹  
(熊本中央区水前寺公園28-51)

### ■委員 ※五十音順・敬称略

#### <委員長>

円山 琢也 熊本大学 大学院先端科学研究部 教授

#### <委 員>

小林 寛子 東海大学 文理融合学部 客員教授（ご欠席）

澤田 道夫 熊本県立大学 総合管理学部 教授

篠原 亮太 熊本県立大学 名誉教授及び熊本県環境センター 名誉館長

竹内 裕希子 熊本大学 大学院先端科学研究部 教授

野々口 弘基 熊本経済同友会 副代表幹事  
(株式会社地域交通ホールディングス 代表取締役)

古荘 貴敏 熊本商工会議所 副会頭  
(株式会社古荘本店 代表取締役)

星野 裕司 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 教授

#### <オブザーバー>

和田 賢哉 国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所 所長

### ■議 事

- (1) これまでの有識者委員会の振り返り
- (2) 第1回意見聴取の概要と結果
- (3) 政策目標の妥当性
- (4) 今後の進め方

## ■委員からの主な意見

### <意見聴取結果と政策目標の妥当性について>

- ・地域の思いを丁寧に聞くことができたという印象（円山委員、星野委員）
- ・政策目標の妥当性の確認という点は問題ないとする（円山委員）
- ・得られた意見を各種計画（熊本地域公共交通計画・熊本都市圏都市交通マスタープラン・アクションプラン等）の策定に活かすとともに、各種施策につなげるべき（星野委員、円山委員）

### <今後の進め方について>

- ・北連絡道路、空港連絡道路を一体的に検討することについては、道路のネットワークやわかりやすさの視点から妥当と考える（澤田委員）

### <今後のルート帯提示に向けて>

- ・ルート帯提示に向け、評価指標は、他事例を踏まえつつ、様々な観点から意見をもらうとよい（竹内委員）
- ・開発と環境保全是トレードオフであり、都市の将来像を見据えながら、道路計画を立案していくべき（篠原委員）
- ・熊本都市圏北東部で進む道路・鉄道整備や開発動向を考慮し、計画検討を進めていくべき（円山委員）

### <その他>

- ・社会情勢が変化するなか、スピード感をもって進めるべき（澤田委員）
- ・今回の意見聴取を通して、3連絡道路の認知度向上に繋がったのではないかと（野々口委員）
- ・道路の通行機能を将来にわたり確保していくためには、土地利用を連携させていくことが必要（星野委員）
- ・熊本市中心部で進められている各種施策との整合性を意識し、中心部の接続位置は考えていく必要がある（円山委員、星野委員）
- ・他施策との連携、技術の進展を考慮して計画を進めていくべき（古荘委員）
- ・3連絡道路は九州全体の骨格を形成する重要な道路であり、50年100年後も熊本の発展のために必要な道路をしっかりと作る必要があることから、地域の発展を見据え

てしっかりルートを決めるとともに、3連絡道路の意義と、将来世代に向けて責任ある道路を作っていくためにも、広域的かつ長期的な視点から国としても助言していく  
(熊本河川国道事務所長)